

委員会セッションについて

第7回学術大会時に委員会プログラムとして、教育問題検討委員会、学術・企画委員会の企画によるセッションを開催いたします。下記詳細を確認のうえ会員の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2016年12月10日（土） 15：30～16：30（途中退室はご遠慮願います）

開催場所：東京医科歯科大学1号館西7階 第2・第3講義室

参加方法：事前参加登録は不要ですが、会場の関係で着席が難しい場合もございます。

委員会セッションⅠ（教育問題検討委員会） 開催場所：1号館西7階第3講義室（定員：70名）

歯科衛生士教員としてのキャリアデザイン —5年後にどのような教員でありたいか—

コーディネーター 日下 和代（教育問題検討委員・千葉県立保健医療大学）
本間 和代（教育問題検討委員・明倫短期大学）
前田 尚子（教育問題検討委員・三重県立公衆衛生学院）

教育問題検討委員会では、本学会第6回学術大会において「歯科衛生士教育に関する調査の結果報告」を行いました。その中で、教員が抱える課題について上位に上がった項目は、自身の教育力・学修支援力・研究力等に関するものでした。そこには教員として描いている姿や夢がありながらも、自己の実力や業務内容、職場環境など、現実とのギャップに悩む教員の実状がうかがえます。

そこでセッションでは、臨床から教育職に就いた歯科衛生士教員が、「ありたい将来像」を考えながら自分の持つ経験やスキルの能力を活かし、自らの可能性を高めるための業務、職務の形成を進めるため、お互いの描いている夢や抱えている悩み・問題点を共有しながら、教職人生（キャリア）を自らが主体となって構想（デザイン）する機会を設けました。

《内容》

1. 事例報告 「臨床から教育へのキャリアチェンジ」

金子佳代子（教育問題検討委員・東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校）

2. グループワーク

テーマ：自分は5年後にどのような教員でありたいか。それを実現するうえでの課題は何か。

委員会セッションⅡ（学術・企画委員会） 開催場所：1号館西7階第2講義室（定員：30名）

歯科衛生過程の授業設計 —教育での取り組みから効果的な指導法を考える—

コーディネーター 合場千佳子（日本歯科大学東京短期大学）
江川 広子（明倫短期大学）

本学会の学術大会において、設立時より継続的に歯科衛生過程をテーマに討議されてきました。その背景には、歯科衛生士の専門性をより高めるために学ばなければならないツールである歯科衛生過程を教育現場で周知することが求められています。本セッションは、教育に関連する領域からの調査報告や養成校および専門職での取り組みなどを紹介し、参加者とともに歯科衛生過程の効果的な指導法を検討することを目的とします。

ミニレクチャー：

歯科衛生過程に関するアンケート調査報告 白鳥 たかみ（東京歯科大学歯科衛生専門学校）
歯科衛生士教育での取り組み事例 西口 真美（熊本歯科衛生士専門学校）
臨床現場で活用するために 柴田 享子（名古屋医療スポーツ専門学校）

タイムスケジュール：

15：30～16：00 3名のミニレクチャー（1人10分程度）

16：00～16：30 ミニセッション（Think-Pair-Shareの技法を用いて意見を出し、考えを深める）

◆短い時間ですが、歯科衛生過程を取り入れた教育について検討されている会員の皆様と意見交換を行い、より歯科衛生過程を身近に感じ、歯科衛生士教育に役立てていただくことを期待します。